

53 Internationale  
Filmfestspiele  
Berlin  
2003年ベルリン映画祭  
コンペティション部門正式出品作品

その夏、少年は大人への扉を開けた

# ぼくは怖くない IO NON HO PAURA

a COLORADO - CATTLEYA - ALQUIMIA CINEMA - THE PRODUCERS FILMS co-production in association with MEDUSA FILM a film by GABRIELE SALVATORES "I'M NOT SCARED"  
監督:ガブリエーレ・サルヴァトーレス / 出演:ジュゼッペ・クリスティアーノ、マッテア・ディ・ビエロ、アイタナ・サンチェス=ギヨン、ティノ・アップレーシャ、ディエゴ・アバタントゥオーノ  
based on the novel by NICCOLO' AMMANITI with AITANA SÁNCHEZ-GIJÓN, DINO ABBRESCIA, GIORGIO CARECCIA, ANTONELLA STEFANUCCI, RICCARDO ZINNA with a special appearance by DIEGO ABATANUONO  
原作:ニコロ・アンマニーティ (ハヤカワepi文庫) / サウンドトラック・アルバム (輸入盤): BMGファンハウス / 後援:イタリア大使館 協力: RAI, LA BIBLIOTECA, IL BOCCALONE, Babilonia Inc.  
and introducing GIUSEPPE CRISTIANO, MARTIA DI PIERRO, ANDRIANA CONSERVA, FABIO TETTA, STEFANO BRASE, FABIO ANTONACCI, GIULIA MATTIURRO screenplay by NICCOLO' AMMANITI  
提供:ニューセレクト、博覧堂 / 発給:アルパトロス・フィルム株式会社 www.albatros-film.com

World Sales by Capitol Films colorado film cattleya THE PRODUCERS FILMS 英配 and FRANCESCA MARCIANO produced by MAURIZIO TOTTI, RICCARDO TOZZI, GIOVANNI STABILINI, MARCO CHIMENZ directed by GABRIELE SALVATORES

アカデミー賞受賞監督ガブリエーレ・サルヴァトーレスがイタリア文学界最高峰小説を完全映画化!

# イタリアで最高の作家と最高の監督が生み出した、21世紀の奇跡!

“スティーヴン・キングに匹敵する才能(ザ・タイムズ)”などと大絶賛を浴び、イタリアでその年最も優れた文学作品に贈られる  
ヴィアレージョ賞を受賞した、ニコロ・アンマニーティによる大ベストセラー小説「ほくは怖くない」  
これがついに映画化されたのだからイタリア中が熱狂しないわけがない。  
国内で最も権威のあるタオルミナ映画祭やゴールデングローブ賞にて数々の映画賞を受賞、記録的な大ヒットとなった。

ベルリン映画祭コンペ部門上映時には拍手が鳴り止まず、  
世界中で配給権の争奪戦が繰り広げられるほどの話題沸騰となり、北米はミラマックス配給による公開が決定  
2004年度アカデミー賞外国語映画賞部門のイタリア代表にも選ばれた本作が、  
いよいよ日本でも公開になる。

黄金色の海のような美しい麦畑が一面に波立つ、一見「何も起こりそうにない」  
のどかな集落で、偶然の発見により大きな秘密を抱え込んでしまった一人の少年。  
やがて村中を巻き込んでの思わぬ事態に結びつくまでの心の葛藤を  
あくまで少年の視点から描き、想像を絶する衝撃のクライマックスへとなだれこむ。  
少年の一举一動から目が離せず、息をもつかせぬ面白さと温かい感動を兼ね備えた  
イタリア版「スタンド・バイ・ミー」と言うべく珠玉の名作がここに誕生した。

監督は「エーゲ海の天使」にてアカデミー外国語映画賞を受賞した  
ガブリエーレ・サルヴァトーレス。「ニュー・シネマ・パラダイス」、  
「ライフ・イズ・ビューティフル」に続く天才子役は  
1200人によるオーディションで選ばれたジョゼッパ・クリスティアーノ。  
あどけなさど心の機微をデリケートに、かつ愛くるしく生き生きと演じた。

母親役に「裸のマリア」の美人女優  
アイタナ・サンチェス＝ギヨンが好演しているのをはじめ、  
イタリアの名優が数々登場し、物語に深みを与えている。  
音楽は70年代の大ヒット曲「甘いささやき(パローレ・パローレ)、  
ヴィヴァルディの協奏曲、ブッチーニのオペラ「ラ・ボエム」などが  
効果的に使われ、作品にほどよい緊迫感と崇高さを醸し出している。



観客に“これぞ映画だ!”と思わせる満足感を与える作品  
—スクリーン・インターナショナル  
息を飲む美しい映像 —ヴァラエティ

監督:ガブリエーレ・サルヴァトーレス(アカデミー外国語映画賞「エーゲ海の天使」)「ニルヴァーナ」(マラケシュ・エクスペリス)  
出演:ジョゼッパ・クリスティアーノ、マツチア・ディ・ビエロ、アイタナ・サンチェス＝ギヨン、ディノ・アッブレシヤ、ディエゴ・アバンタノ・オーノ  
原作・脚本:ニコロ・アンマニーティ「ほくは怖くない」(ハヤカワepi文庫)  
音楽:エツィオ・ボツソ/サウンドトラック・アルバム(輸入盤):BMGファンハウス  
後援:イタリア大使館/協力:ローリス・ファーム、IL BOCCALONE、LA BISBOCCIA、Bellissimo inc.  
提供:ニューセレクト、博報堂/配給:アルトロス・フィルム★  
(2003年/イタリア映画/原題:IO NON HO PAURA/109分/シネマスコープ/ドルビーSRD)



## かつて少年だったすべての大人たちに贈る、勇気と感動の成長物語

1978年、記録的な猛暑に見舞われた南イタリア。  
麦畑に覆われた丘の只中にある、たった5軒の家からなる小さな村。  
10歳のミケーレはある日、廃屋の穴の中で鎖に繋がれた少年を発見する。  
「あの子は誰?どうしてこんなところに閉じ込められているの?」  
あまりに恐ろしく誰にも話せずにいるが、少年のことが気になり、頻繁に穴を訪れるようになる。  
そんな中、大人たちの会話を盗み聞くことによって、この少年と関係のある恐ろしい  
“何か”に気が付き始める。それも大好きな両親を巻き込んで…  
大切な家族が何か「とんでもないこと」に関わっているかもしれないという事実は  
幼いミケーレにはなかなか受け止められない。  
けれど少年を助けるためには彼なりの“精一杯の想像力”を膨らませて  
この現実と向き合わなければならぬ。  
それは彼の子供時代の終わりへと未知の勇気の発見を意味していた…  
両親に対する畏怖や愛情、冒険、友情、裏切り…誰にも覚えがある幼い日の懐かしい日常が、  
少年のみずみずしい感性をとおしてミステリアスに、そしてノスタルジックに語られていく。

2003年ベルリン映画祭コンペティション部門正式出品作品  
2004年度アカデミー賞外国語映画賞部門イタリア代表作品

# IO NON HO PAURA

## 2004年3月“感動の”ロードショー!

■特別鑑賞券¥1,500(税込) 絶賛発売中(当日一般¥1,800の処)

※劇場窓口でお買い求めの方限定  
500名様に“ポロニーヤの宝石箱”  
といわれるMAJANI社のFIATチョコレート  
(2個セット)プレゼント



JR新宿駅南口徒歩2分 タカシマヤタイムズスクエア12F  
**テアトルタイムズスクエア**  
<定員制・入替制> <http://webs.to/times> 03-5361-1937